



群馬パース大学の 目指すべき姿と夢

総長
樋口 建介

逆に、専門教育の始まる二年次以降は、実習や国家試験対策を含めて考えてみると競争原理の働く都市部へと発想の転換をした。

十周年の本年、大きな決断であるが、高崎問屋町に新校舎建設を決定した。地上8階建ての大学が地元問屋町との協力の中で、地域ニーズに密着し地域活性化することにより、群馬パース学園は飛躍出来ると確信している。

十年前、群馬パース学園は、大学を森の中の城をイメージし、大学生生活の大部分を共に暮らすことにより、人間形成の一助となるよう寄宿舎（学生寮）を造った。

これまで、一年次は社会人の第一歩として都市部にある高崎キャンパスであったが、高校生から責任ある大人への第一歩は、もう少し丁寧な指導と時間が必要であると考へ、群馬県内で最も星座が綺麗で自然豊かな高山高原に「ハリポッター」さながらの学校と学生寄宿舎を備えている群馬パース大学高山キャンパスを教育寮（教員・学生寄宿舎）として再構築したいと考へている。

平成20年4月、群馬パース学園は創立十周年を迎えた。本大学は、日進月歩の医学・看護・理学療法に関する最新の「知識」の伝授に加えて、その臨床における「実践」と実践のための「研究」そして、「教育」を三本の柱として、開学以来十年間で看護師562名、保健師173名、理学療法士122名を社会に送り出した。



この両キャンパスから、世界に向かって「人は生きていく限り希望がある」そして「美しく・健康に・元気で老いる」という高齢社会の理想を発信し、小さな波紋を起し、これが少しずつ大きな波紋となって、世界中に広がっていくことを夢見ている。

このことは、世界に類を見ない高齢社会を経験している我々日本人が全人類のために貢献できる最も大きな課題である。

現状から一歩先に気づき、百人の中の一人の舞が美しければ九十九人は、その美しさに気づくのである。一人の優秀な人間が、百歩先に行くよりも、百人が一歩ともに進むことが大きな力を生み出す。これこそが教育の第一歩である。

この教育にかける夢のため、私は最大の力を注いでいく覚悟である。三十年、五十年、百年、さらには二百年後に、この群馬パース学園が堂々と、世界に誇る実践学の発信拠点になっていることを信じて。

学園だより



学校法人 群馬パース学園

群馬パース大学

■ 高崎キャンパス
〒370-0044
群馬県高崎市岩押町5-4
TEL 027-310-7766(代)
FAX 027-310-7767

■ 高山キャンパス
〒377-0702
吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477

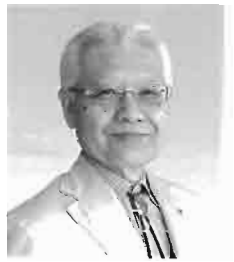
群馬パース福祉専門学校

〒377-0201
群馬県渋川市上白井2564-6
TEL 0279-53-4800(代)
FAX 0279-53-4991

新年度を迎えて

群馬パース大学

学長 小林 功



皆さんお元気ですか！ 本学は十年前に短期大学からスタートしましたが、平成17年度より四年制の医療系大学として、既に三年有余の月日が経ちました。大学の四年次に当たりますので、いわゆる完成年度になったわけであり、四年生の諸君は、いよいよ今までの学習成果を整理し、来春の国家試験への準備を始める季節となったのです。

必要があります。一方大学には、教育面に加え、研究面の展開も問われます。さらに、地域のニーズに応えられる社会貢献についても重要な役割があります。このような観点から、教職員が共通認識に立って、今後更なる努力をしていく決心であります。

去る6月21日の学生諸君のスポーツ大会では高山キャンパスに集まり、各種競技を実に生き生きと楽しそうに行っている姿を見て感動しました。実に半世紀前の私自身や級友たちの姿と重なり、走馬灯のように思い出が戻ってきました。「若いつていいなあ」とつくづく思ったものでした。

若い世代には、大きな夢があるはず。本学を卒業後、それぞれ看護師や保健師、理学療法士の国家資格を取得し、大部分の諸君は医療、保健、福祉の実務につくことになるわけです。昨今「医療危機」とか「医療荒廃」とか指摘されるようになっていますが、現場では諸君の若い情熱やエネルギーが切望されております。

さて、本学は、このたび四年制の完成年度を迎えましたが、教職員にとっても多くの課題があります。大学の運営面からは、四年制にふさわしい教育が行われてきたか、学生の満足度や教員の授業のあり方などが問われる時代です。また、これらを含めて、本学も第三者機関による認証評価を受ける

本学では第三のキャンパスとして、一部高崎への移転、大学院設置への準備、高山キャンパス活性化へのプロジェクトチームもつくられました。パースグループ樋口建介総長の遠大なる構想の下に、本学の益々の発展への礎石実現のステップ、完成年度をここに迎えたわけであり、これからは、皆さんと一緒に頑張ってください。

変革期の 介護福祉士養成校

群馬パース福祉専門学校

校長 山田 完治



介護福祉士養成校は、大きな変革期を迎えています。平成21年度から実施される新教育課程の編成、平成23年度入学生から実施される国家試験への対応、更に、学校評価の推進も求められております。本年度は、こうした新たな事態への対応に追われる一年間になります。しかし、このような流行への対応は、とかく現状維持を求めがちな学校に変化や発想の転換をもたらしことになり、現状を前向きにとらえて特色ある本校の新システムを創造して参りたいと考えております。

で介護職員が不足し、介護福祉士の養成校でも学生が確保できずに苦慮しております。現状を打開するために、介護職員の待遇改善等を求める動きが全国規模で展開されておりますが、養成校としては、こうした動きに協力をしながらも、本来の教育活動の充実化に邁進して、全職員が一丸となって在学生指導と新入生確保の努力を継続して参りたいと考えております。

しかし、流行にばかり目を奪われて、不易の教育活動を疎かにすることがあつてはならないと考えます。本年度は、不易の教育活動として「授業の「層の充実」」「介護技術の飛躍的向上」「学生への指導・支援の強化」を重点目標に掲げ、介護職員に不可欠な資質である豊かな人間性に裏付けられたマナーや接遇の指導強化も目指してまいります。

介護に関する近年の重大な課題は、介護職員の不足であります。全国的な実情として、各介護施設



新任教員紹介

群馬パース大学



一月十六日付
看護学科助手
大平奈津美



四月一日付
看護学科准教授
真砂 涼子



四月一日付
看護学科助手
柴崎 由佳



六月十六日付
理学療法学科助手
蛭間 基夫



三月一日付
教務主任
三村 規

群馬パース福祉専門学校

最上級生に なつて

看護学科四年

荒屋 敦子



四年生になり、実習を終えることで、改めて看護師や保健師を目指しているという自覚を持つことができました。やはり、看護師の方や保健師の方が実際に活躍している場をみるということが、看護師や保健師になるという意識をより高める役割を担ったと思います。また、四年生になったことで、卒業研究や国試の勉強、就職活動とやらなければならぬことが多くなつたと感じています。卒業研究では、自分が興味を持っていることに対して研究を進めていくため、楽しく研究に取り組んでいると感じます。私の場合、グループで研究に取り組んでいるため、グループ内での協力はとても大切であり、必要な事であると改めて学ぶことができました。国試に向けての勉強は、時間を見つけて進めているのですが、勉強の仕方がわからずこ

のまままで良いのかという不安を感じています。しかし、勉強したことが、自分への自信に繋がると思っているため、今やれることを一生懸命やっています。就職活動では、興味を持った病院への見学や、就職説明会に参加することで、自分に合った環境や希望通りの病院を探しています。やはり、多くの病院に見学へ行き、自分に合った病院を探ることが大切であると思います。

四年生になったことで、改めて看護師や保健師を目指しているという自覚と共に意識を高めることができています。忙しい毎日を過ごしていますが、一日一日がとても充実していると思います。

P.T学科四年

今村 哲也



皆さん、こんにちは。私は群馬パース大学保健科学部理学療法学科四年の今村哲也と申します。ただいま臨床実習中であり、多くの人に触れる機会があることから「手」について考えます。手は挨拶の手段にもなりますし、手のぬくもりが安心感を与える結果にもなります。逆に手から緊張が伝わ

つてしまい、相手も緊張することもあります。学校での実技練習や試験において、自分の手から伝わるものがあるなんて考えもしていなかったのですが、実際の臨床において手から伝わるものによって患者様の反応が全く異なることを学びました。患者様は私たちが思っている以上に私たちに関心を持ってくださっていることや、よく私たちを見ていらつしやいます。患者様を診ることが私たちの学習していることですが、みられているのは私たちなのかもしれない、と思うことが多いです。さらに手で患者様に触れることで、患者様は私たちの様子をみられている気がします。患者様と私の二人の関係の中で、相互に思いを伝えていくものの一つとして手は存在しているのかもしれない。手のつく話は数多くあり、手の持つ意味というのは人間にとって大きなものなんでしょう。

日々勉強の毎日ですが、座学や国試対策のみならず、手から得る情報というものも大切にしていきたいです。私たちが様々な情報を患者様から得ていますが、手から得られるものも情報の一つとして大切に扱っていきたく思います。そして、人間同士の関わり合いを大切に、患者様の人生に触れられたことを大切にしていきたいと思えます。

学友会便り

学友会長 須藤 明子



本年度から学友会長になりました。看護学科三年の須藤明子です。

学友会とは、学生間の親睦・学術文化の向上・サークル活動の増進を図り、個性の重視と助け合いの精神、そして熱意ある人間形成を目的として、学生全員の参加によって組織されています。

本校も四学年揃い、今まで以上に活気に溢れています。実習やキャンパスが離れていてあまり他のクラスと交流がもてないのが現状ですが、イベントやサークル活動支援という形で学友会は活動しています。

昨年度までは現四年生が主に運営をしてきましたが、学業専念のため、今年から一、二、三年生の役員三十一名で「学友会に必要なのは愛と勇気と希望とみんなの力だ!!」をスローガンに活動しています。

保護者後援会や同窓会のみならずとさらなる連携を深めて、学生がすばらしいキャンパスライフを送れるように力を注ぎますので、これからも学友会をよろしくお願ひします。

保護者後援会から

会長 轟木 恒彦



群馬パース大学保護者後援会がスタートして三ヶ月が経過いたしました。今年度の事業計画で最初の活動が、去る6月21日(土)に開催された「スポーツ大会」への協力でした。大会に先立ち、学生団体の「学友会」の役員と打合せを行った結果、「参加予定の三百名分のソフトドリンクと送迎用バスの経費」をお願いされました。その後、理事役員から、「他に学生が喜びそうな何かがあるのでは」との提案を受け相談した結果、おやつ代わりになればということになり「焼きそば」を提供することになりました。早速理事役員へ二晩かけて電話で協力要請をし、十七名の方にお引受けいただき準備がかりになりました。三百名の食欲旺盛な学生にどう対応できるか大変不安でしたが、経験豊富な役員指導の下、手際よく対応することができました。特に今回は初めてでしたので、「ほたか病院」の生方文夫さんに道具と燃料の手配及び当日の準備にあたっていただきましたおかげで、多くの学生に喜んでもらえる味付けとなりました。

今回の参加を機に学生、大学、そして保護者との連携が深まればと念じながら、午後2時30分に解散することができました。

高崎(問屋町)に新校舎建設



記者発表する小林学長(右から3人目)

去る6月20日には、地元紙の上毛新聞をはじめ各新聞社の県内版に掲載され、「新聞を見ました」というお問い合わせの電話を多くの方からいただき、対応に追われる一日でした。



去る6月19日午後、高崎市役所内の記者クラブで記者発表をしました。

- 1 新キャンパス建設について
- 2 大学院設置について

翌6月20日には、地元紙の上毛新聞をはじめ各新聞社の県内版に掲載され、「新聞を見ました」というお問い合わせの電話を多くの方からいただき、対応に追われる一日でした。

理事会報告

事務局長

永田 榮一



去る3月27日開催された第43回役員会では、13件の議案が審議されましたが、特に本学にとって歴史的といっても過言ではない「新キャンパス設置のための用地取得について」が審議され、承認いただきました。

場所は、群馬県高崎市問

屋町一丁目七番一で面積二、一四〇平方メートル(約九五〇坪)、J R 高崎問屋町駅から徒歩10分のところとです。そして3月29日に購入契約を締結したことを、5月22日開催の第44回役員会に報告し、文部科学省へ校地変更届を提出しました。

現在は関係教員との打合せも終わり、実施設計、建築確認申請へと作業がすすんでおります。供用開始は、来る平成22年4月からとなります。

このような大事業をつつがなく成し遂げるためには、



今まで同様皆様方のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

学校法人群馬パース学園 平成19年度 決算報告

貸借対照表

(単位:円)

資産の部	金額
固定資産	(1,988,126,847)
有形固定資産	(1,937,418,255)
土地	170,811,880
建物	1,107,843,786
建物付属設備	79,334,901
構築物	50,711,847
教育研究用機器備品	317,899,149
その他の機器備品	85,784,936
図書	125,031,756
車両	0
その他の固定資産	50,708,592
流動資産	(1,091,843,872)
現金預金	1,063,732,691
未収入金	12,188,600
前払金	1,608,310
立替金	14,314,271
資産の部合計	3,079,970,719
負債の部	金額
固定負債	(28,663,211)
退職給与引当金	26,261,966
長期未払金	2,401,245
流動負債	(265,355,594)
未払金	30,463,082
前受金	231,250,000
預り金	3,396,412
仮受金	246,100
負債の部合計	(294,018,805)
基本金の部	金額
第1号基本金	2,968,368,797
第4号基本金	57,000,000
基本金の部合計	(3,025,368,797)
翌年度繰越消費収入超過額	▲239,416,883
負債・基本金の部合計	(3,079,970,719)

資金収支計算書

(単位:円)

収入の部	金額
学生等納付金収入	656,845,000
手数料収入	11,395,920
寄付金収入	5,907,000
補助金収入	84,257,000
資産運用収入	5,372,261
資産売却収入	12,614,644
雑収入	10,158,880
前受金収入	231,250,000
その他の収入	133,463,119
資金収入調整勘定	△282,368,600
前年度繰越支払資金	1,035,315,629
収入の部合計	1,904,210,853
支出の部	金額
人件費支出	506,040,569
教育研究経費支出	104,948,687
管理経費支出	55,629,150
施設関係支出	18,561,400
設備関係支出	25,103,998
資産運用支出	15,000
その他の支出	163,576,605
資金支出調整勘定	△33,397,247
次年度繰越支払資金	1,063,732,691
支出の部合計	1,904,210,853

【用語説明】
 ・資金収支計算書
 …(企業会計上の)キャッシュフロー計算書に相当する計算書。
 ・支払資金
 …現金預金の残高。

消費収支計算書

(単位:円)

消費収入の部	金額
学生等納付金	656,845,000
手数料	11,395,920
寄付金	5,907,000
補助金	84,257,000
資産運用収入	5,372,261
資産売却差額	3,612,558
雑収入	14,670,880
帰属収入合計	782,060,619
基本金組入額	△16,693,040
消費収入合計	765,367,579
消費支出の部	金額
人件費	504,393,738
教育研究経費	215,607,860
管理経費	68,495,746
消費収支合計	788,497,344
当期消費収入超過	△23,129,765
前年度繰越消費収入超過額	△216,287,118
翌年度繰越消費収入超過額	△239,416,883

【用語説明】
 ・消費収支計算書
 …(企業会計上の)損益計算書に相当する。
 ・帰属収入
 …収入のうち、負債とならず純資産を増加させる収入。
 ・基本金
 …建物など、教育活動に必要な資産のうち、自己資金にて取得した金額。
 ・消費支出
 …学校法人が消費する利益の対価であり、純資産を減少させる支出。

学校法人においては、各種財務書類の公開等が義務付けられております。詳細につきましては、事務局総務課(または会計課)までお問合せ下さい。尚、本学ホームページ内でも掲載中です。
<http://www.paz.ac.jp/zaimu.htm>

群馬パース大学

高山キャンパスが学生環境整備

CAMPUS LIFE 広 場

テーブルと椅子を増設

学生間交流と、予習・復習の場に。



回廊

風除用自動ドアを設置

冬場の寒風をシャットアウト。
暖房効率を高めます。



玄関

学生対応環境を改善
お互いの目線に立って、
混雑時のために椅子も用意。



事務室



グラウンドで百足競走

スポーツ大会



焼そば作りで応援 保護者後援会役員

群馬パース 福祉専門学校



球技大会



新入生歓迎会